

---

# 虚無が渦巻く

マックス・ゼロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

虚無が渦巻く

### 【Nコード】

N2987Z

### 【作者名】

マックス・ゼロ

### 【あらすじ】

なんだろうこの虚無感は。

空気があるから空気を吸う、食べ物があるから食べ物を食べる。空気がなくなったら苦しい、息が吸えないと苦しい。

食べ物がなくなったら苦しい、たべられなくなったら苦しい。

だけど、空気があるから空気を吸うし、食べ物があるから食べ物を食べる。

結局、ただただ、なんとなく延長している。

がむしゃらに働いていても、働いていなくても、それは同じで、ずーっときつと

深く考えないようにしてきたんだ。

テレビゲームをやって、ネットサーフィンをして、たまにスポーツをしたり、ふいに

何か新しい趣味を見つけて入れ込んでみたり、その時は確かに忘れていたのかもしれない。

まるで眠っている間に夢を見ているかのよう。

だけど、うまいものを食べても、スポーツで汗を流しても、こつやつて何かを書いていても

ただ俺は、いたずらに生を延長しているだけだ。

誰かが言っていた、パチンコをしている間は、何も考えずに済むから、だからパチンコが

好きだと。

仕事に熱中している人も、きつと熱中している間は他のことは何も考えずに済むだろう。

だけど、はっと気がついたときに、どうしようもない虚無が渦巻いて闇が自分を飲み込む。

映画を見ていて、終わりが近づくと悲しい、ゲームをしていてエンディングが近付くと悲しい、だけど必ず終わってしまう。終わった後に、もう一度繰り返す人もいるだろう。だけど

永遠に繰り返す人はいない。

なんだかこのループ、繰り返すことに果たして意味はあるのか、あ  
あ、何も考えたくない、そうしてまた逃げるのだ。逃げても逃げて  
も逃げられないのに。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2987z/>

---

虚無が渦巻く

2011年12月10日16時49分発行